TOKIO MARINE Topics (物流関連速報)

中英直通鉄道輸送の開通について

TOKIO MARINE NICHIDO
東京海上日動火災保険株式会社
（2017 年 4 月 28 日）

中国からヨーロッパへの貨物輸送は空輸あるいはコンテナ船輸送が主流でしたが、中国―イギリス間の鉄道輸送が新たな選択肢として注目を浴びつつあります。
今回の TOKIO MARINE TOPICS は中国が進める「One Belt, One Road」プログラムの 1 つである中国―イギリス間の鉄道輸送についてお伝えします

1. 中英直通貨物列車について

中国―イギリス間の直通貨物列車は、中国～欧州間の国際貨物列車の 1 つで、上海市から 300 キロほど南に位置する中国・浙江省義烏市の貨物ターミナルから、カザフスタン、ロシア、ベラルーシ、ポーランド、ドイツ、ベルギー、フランスを経由し、ドーバー海峡を経てイギリス・ロンドンを結びます。中国の国際貨物列車がイギリス国内に乗り入れするのは初めてであり、総運行距離は約 1 万 2,000km、およそ 18 日間かけて運行します。
2017 年 1 月に中国からは主に中国で製造された衣料品や日用雑貨を載せて出発し、3 か月後の 4 月 10 日にイギリスからはウィスキー、清涼飲料水、ビタミン剤、医薬品、ベビー用品を載せて出発しました。中国・浙江省は日用雑貨品の製造が盛んで、義烏市には世界最大級の日用雑貨品の卸売市場である「福田市場」があることでも知られています。

2. 中英間の定期鉄道輸送の今後について

これまでは不定期かつ少量の鉄道輸送しか行われてきませんでしたが、中国―イギリス間の鉄道輸送ルートは東西の古代シルクロードを復活させることを目的とした中国の「One Belt, One Road」プログラムの一部です。
「One Belt, One Road」プログラムとは、中国とヨーロッパ、中東、中央アジア間の経済交流を促進するために、2013 年に中国政府より発表された陸上輸送・海上輸送の現代版シルクロードを復活させるというものです。
　イギリスも 2 年後に EU 離脱の準備を進める中、世界との貿易関係を強化しようとしています。イギリス政府は「海運に比べ輸送期間が半分で済み、コストは空輸の半分で済む」として、世界第 2 位の経済大国である中国との貿易が今後活発に行われることを期待しています。また貨物列車を受け入れる各都市にも新路線の開通による経済効果が見込まれ、今後貨物輸送の柱として発展していく可能性があります。

◇◆◇◆◇◆